



## 第3章 地球上を飛び回る電波を最新のテクノロジーでキャッチ!

# ラジオ受信に使えるカッコいい! 市販SDR機

堂込 健一 Kenichi Dohgomori

### 趣味としてのラジオ受信とSDR

#### ● 海外などの遠くのラジオ放送を聞く

ラジオを楽しむといえば、かつて1970～1980年代にアマチュア無線と並んでBCL(BroadCasting Listening)という趣味が大ブームになったことがあります。おもに海外の短波放送の受信や、国内のAM放送局、FM放送局の遠距離受信などを楽しむ趣味です。

現在は、海外短波放送の廃止/縮小の動きや、国内民放AMラジオ局のFM局転換開始、および電子機器から発生する人工雑音の増加による受信環境の悪化などのマイナス要因の影響もあり、BCL愛好家の人口は一時期より減っていると思われます。

一方で、近年は「サイクル25」と呼ばれる太陽活

動周期のピークを迎えている、電波伝搬のコンディションが上向きになっているという好材料があり、BCLという趣味は地味ながらもまだに根強い人気があります。

#### ● 趣味の世界でもSDRが台頭し始めている

かつてのBCLブームと異なるのが、テクノロジーの進歩によって生まれた、従来とは違う概念の方式を使った受信機や受信スタイルが新たに登場していることです。それがSDR(Software Defined Radio; ソフトウェア無線)です。

SDRの技術そのものは本誌でも何度かさざまな形で取り上げられていますが、ここではラジオ放送の受信に特化した市販のSDR受信機の現状とその楽しみ方について紹介します(写真1)。



SDRソフトウェア画面 (SDR Console) スペクトラムやウォーターフォールなどを表示

USBケーブル、SDRハードウェアとノート・パソコンを接続

SDRハードウェア Airspy HF+Discovery

アンテナへ接続

同軸ケーブル

ノート・パソコン電源ケーブル

ノート・パソコン

イヤホンで受信音声を聴取

写真1 主流の構成…SDR受信機+PCでラジオ放送を受信しているようす  
864kHz, JOXR(ラジオ沖縄, ROK)を受信中

